【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公開番号】特開2012-221109(P2012-221109A)
【公開日】平成24年11月12日(2012.11.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-047
【出願番号】特願2011-84654(P2011-84654)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/12　K
Ｇ０６Ｆ　3/12　B
Ｂ４１Ｊ　29/38　Z

【手続補正書】
【提出日】平成26年4月4日(2014.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
印刷装置に印刷データを送信する情報処理装置であって、
印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断手段と、
前記印刷データを前記情報処理装置内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断手段と、
前記回数制限判断手段で印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断手段で前記設定が有効になっていると判断された場合、印刷を停止する印刷停止手段と、
を有する情報処理装置。
【請求項２】
印刷装置に印刷データを送信する情報処理装置であって、
印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断手段と、
前記印刷データを前記情報処理装置内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断手段と、
前記回数制限判断手段で印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断手段で前記設定が有効になっていると判断された場合、前記設定を無効にする無効手段と、
を有する情報処理装置。
【請求項３】
前記回数制限判断手段は、前記印刷データに含まれる回数制限のあるデータか否かを示す回数制限情報が回数制限のあるデータであることを示している場合、印刷回数の制限がある印刷データと判断し、前記回数制限情報が回数制限のないデータであることを示している場合、印刷回数の制限がない印刷データと判断する請求項１又は２記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記設定判断手段は、前記印刷装置に印刷データを送信するポートのタイプがファイル

ポートの場合、前記設定が有効であると判断し、前記タイプがファイルポート以外の場合、前記設定が無効であると判断する請求項１乃至３何れか１項記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記印刷データに含まれる終了コマンドに基づいて、全印刷データを前記印刷装置に送信済みか否かを判断する送信完了判断手段と、
前記印刷装置より取得したステータス情報に基づいて、印刷の完了を判断する印刷完了判断手段と、
を更に有し、
前記印刷停止手段は、前記送信完了判断手段で前記全ての印刷データを前記印刷装置に送信済みであると判断され、かつ、前記印刷完了判断手段で前記印刷装置での印刷が完了したと判断され、かつ、前記回数制限判断手段で印刷回数の制限がある印刷データであると判断され、かつ、前記設定判断手段で前記設定が有効になっていると判断された場合、印刷を停止する請求項１記載の情報処理装置。
【請求項６】
印刷装置に印刷データを送信する情報処理装置が実行する情報処理方法であって、
印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断ステップと、
前記印刷データを前記情報処理装置内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断ステップと、
前記回数制限判断ステップで印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断ステップで前記設定が有効になっていると判断された場合、印刷を停止する印刷停止ステップと、
を含む情報処理方法。
【請求項７】
印刷装置に印刷データを送信する情報処理装置が実行する情報処理方法であって、
印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断ステップと、
前記印刷データを前記情報処理装置内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断ステップと、
前記回数制限判断ステップで印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断ステップで前記設定が有効になっていると判断された場合、前記設定を無効にする無効ステップと、
を含む情報処理方法。
【請求項８】
印刷装置に印刷データを送信するコンピュータに、
印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断ステップと、
前記印刷データを前記コンピュータ内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断ステップと、
前記回数制限判断ステップで印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断ステップで前記設定が有効になっていると判断された場合、印刷を停止する印刷停止ステップと、
を実行させるためのプログラム。
【請求項９】
印刷装置に印刷データを送信するコンピュータに、
印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断ステップと、
前記印刷データを前記コンピュータ内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断ステップと、
前記回数制限判断ステップで印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断ステップで前記設定が有効になっていると判断された場合、前記設定を無効にする無効ステップと、
を実行させるためのプログラム。
【請求項１０】

前記回数制限判断ステップでは、前記印刷データに含まれる回数制限のあるデータか否かを示す回数制限情報が回数制限のあるデータであることを示している場合、印刷回数の制限がある印刷データと判断し、前記回数制限情報が回数制限のないデータであることを示している場合、印刷回数の制限がない印刷データと判断する請求項８又は９記載のプログラム。

【請求項１１】

前記設定判断ステップでは、前記印刷装置に印刷データを送信するポートのタイプがファイルポートの場合、前記設定が有効であると判断し、前記タイプがファイルポート以外の場合、前記設定が無効であると判断する請求項８乃至１０何れか１項記載のプログラム。

【請求項１２】

前記印刷データに含まれる終了コマンドに基づいて、全印刷データを前記印刷装置に送信済みか否かを判断する送信完了判断ステップと、

前記印刷装置より取得したステータス情報に基づいて、印刷の完了を判断する印刷完了判断ステップと、

を更に実行させ、

前記印刷停止ステップでは、前記送信完了判断ステップで前記全ての印刷データを前記印刷装置に送信済みであると判断され、かつ、前記印刷完了判断ステップで前記印刷装置での印刷が完了したと判断され、かつ、前記回数制限判断ステップで印刷回数の制限がある印刷データであると判断され、かつ、前記設定判断ステップで前記設定が有効になっていると判断された場合、印刷を停止する請求項８記載のプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

そこで、本発明は、印刷装置に印刷データを送信する情報処理装置であって、印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断手段と、前記印刷データを前記情報処理装置内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断手段と、前記回数制限判断手段で印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断手段で前記設定が有効になっていると判断された場合、印刷を停止する印刷停止手段と、を有する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、本発明は、印刷装置に印刷データを送信する情報処理装置であって、印刷回数の制限がある印刷データか否かを判断する回数制限判断手段と、前記印刷データを前記情報処理装置内に保存する設定が有効か否かを判断する設定判断手段と、前記回数制限判断手段で印刷回数の制限がある印刷データと判断され、かつ、前記設定判断手段で前記設定が有効になっていると判断された場合、前記設定を無効にする無効手段と、を有する。